

現場見守る君

■NETIS登録番号:KT-190064-VE

現場の見える化で防災・防犯・現場管理をサポートする監視カメラ

人の目の代わりになる防犯/監視カメラ

近年、様々な分野でカメラによる監視が行われている。その理由の一つは人手不足で、カメラが人の代わりに現場を管理する役目を担っているのだ。

例えば建設現場は、これまで主任技術者一人で一度に管理できるのは一つの現場に限られていた。しかしカメラでリアルタイムの画像を見ることで、距離に関係なく複数の現場を管理することができる。現場に行く回数も減らせるため、省人化やコスト

削減につながる。また24時間、夜間も映像が撮られているので、防災・防犯の目的でも利用効果が高い。

見える化することで効率と安全を高める

『現場見守る君』は、ネットワークカメラを使用し、簡単に現場の見える化が可能な防犯/監視カメラである。展開する吉田東光は創業70年を超える老舗の建材資材総合商社で、本来手掛ける製品からは少し異色にも見える同製品は、建設業界を知り尽くす同社が、現場の人手不足解決

のために開発したものだ。

『現場見守る君』はネットワークカメラとモバイル通信機器を一体化しており、インターネット工事不要。電源さえ確保できればだれにでも簡単に取り付けられる。赤外線暗視機能で夜間も撮影できる映像は、専用アプリを使ってスマートフォンやパソコンで確認可能。電波の届く範囲であれば、24時間閲覧することができる。またカメラの主要タイプは可動レンズで、遠隔操作でレンズの向きを変えられるため、1台で広範囲をカバーできる。

利用期間についても短期での

様々なシーンで見守りが必要

防犯対策



- 盗難対策
- 犯罪の抑制
- 有事の際の証拠

現場管理



- 現場美化・5S徹底
- 関係者の情報共有
- 工程管理・安全管理 (労災防止)

天候確認



- 地震、台風、ゲリラ豪雨などの災害チェック



現地に行かずに、24時間・複数の現場を管理可能
全国15,000件以上でレンタル実績!

【導入先】 建築現場(ハウスメーカー、建設業等)、河川・道路(自治体)、製造工場、物流倉庫、仮設店舗、イベント会場 etc.

ニーズや環境に合わせて6タイプから選択



スタンダード

防水対応で屋外で使えるタイプ。水平180°、垂直90°の視野で1台で広範囲をカバー。夜間は白黒の赤外線映像で記録

PRO

スタンダードに人感センサーライトを搭載。防犯効果をさらにアップ



国土交通省NETIS認定「VE評価」を獲得
公共工事に携わる企業にも安心してご使用いただける品質を維持

「現場見守る君」の特徴

必要な時だけレンタル

短期から長期まで必要な時だけ貸出し可能。建設現場・農作物の収穫期・イベントの設営時・河川の梅雨時期の監視など、スポット的な使用にも便利



ネット工事不要の簡単取付け
カメラに通信機能が内蔵されているため、面倒な設定は不要

SDカード・クラウドに同時保存

静止画を定期的にクラウドにも同時保存するため、カメラが盗難に遭ったり壊されても直前までのデータが残る

防犯設備士によるサポート

録画エラー等が発生した場合も遠隔でサポート。使い方、設置場所や機種種の選定などにも対応



どこからでも閲覧・管理が可能

専用アプリを使ってスマホ・タブレット・パソコンで、簡単に動画を確認。レンズの向きを遠隔操作して左右180度下90度の範囲が閲覧可能(一部製品は除く)

レンタルが可能で、料金には通信費、サーバー費用が含まれている。導入するのに初期費用が掛からないため、スポット的に監視したい場面にも便利だ。

信頼性の高いバックアップ機能

『現場見守る君』の大きな特徴が、画像データの品質、安全性の高さである。カメラ内のSDカードに動画を保存するだけでなく、静止画は2分おきにクラウドにも同時保存される。もしもカメラが盗難にあたり壊されたりしても、直前までのデータがクラウドに保存されるので安心だ。またカ

メラに内蔵しているSIMカードは、大手通信会社のものを使用しているため、スピードや安定性などの通信品質が高く、市街地以外の電波が届きにくい山間部や海洋エリアなどもカバーしている。さらに、こうした機能はすべて標準装備となっている。

こうした技術が評価され、2023年3月には新技術情報提供システム「NETIS」において最高ランク「VE評価」に認定、その信頼性は高いといえよう。

様々な効果で広がる導入現場

現在、『現場見守る君』は大手

ゼネコンやハウスメーカーなどの建設現場はもちろん、自治体、工場、倉庫、店舗、イベント会場など様々な場所で導入されており、全国で2,300件/月以上が稼働している。遠隔地からでも現場の状況をリアルタイムで監視できることで、業務効率化はもちろん、防犯対策や現場の安全管理や美化、マナーの向上などの効果を生み出しているという。

今後は様々な場面で無人化、省人化が進むことが予想される。人の目の代わりとなって業務をサポートする監視カメラの役目が、ますます重要になりそうだ。

導入事例

埼玉県ふじみ野市 都市政策部

過去の内水浸水の経験を踏まえての備え

様々な場所に導入されている『現場見守る君』だが、建設現場に次いで導入が多いのが自治体だ。近年、自然災害による被害が増加するなか、河川や道路などの管理ツールとして採用が増えている。今回は自治体の導入事例として、ふじみ野市都市政策部道路課道路建設・維持係の菊池氏と風間氏にお話を伺った。

ふじみ野市は、一級河川新河岸川に接して位置しており、これまで著しい市街化が拡大してきたことで、降雨時において地表の表面流水が増加し、道路冠水への対策の必要性が高まっているという。「平成29年台風第21号」及び「令和元年東日本台風」の豪雨の際には、同市内で内水浸水が発生したため、いち早く道路冠水のおそれのある複数の場所をリアルタイムで把握することが課題となっていた。



道路課
道路建設・維持係
係長
菊池 将昭氏



道路課
道路建設・維持係
専門員
風間 正博氏

画像の見やすさ、操作性が導入のポイント

このような課題を克服する一環として同市が導入した設備が『現場見守る君』だ。平成30年に下水道施設で導入を開始し、令和5年からは道路施設でも導入を開始している。導入のポイントについて同氏にお話を伺った。

同氏「画像の見やすさ、操作性の分かりやすさで『現場見守る君』を選びました。レンズを動かして見たい所を見ることができると、構造がシンプルで非常に扱いやすいです。リース対応もしていて適切なメンテナンスサービスを受けられるほか、リース価格が低廉で複数箇所に設置いたしました。」

職員はスマートフォンに専用のアプリケーションをインストールすれば外出時や夜間などにもリアルタイムで現地の状況をモニタリングできるので、非常に使い勝手が良いです。」

現在は道路施設(国道下のアンダーパスや鉄道下の道路)及び下水道施設(調整池やポンプ施設など)の合計14箇所に設置し、設置期間は出水期の5月から11月までの7カ月間リース契約として利用している。これと併用して、複数台のタブレット端末も使用しており、都市政策部のほか防災担当部署でも使用可能としているため関係部署間での情報共有を図り連携強化に努めている。

カメラと人の棲み分けで業務の効率化に貢献

『現場見守る君』の導入によりふじみ野市では道路冠水のおそれのある複数の場所を同時にモニタリングできることとなったため業務の効率化が改善されたという。「道路冠水のおそれのある複数の場所を気象情報などと照らし合わせながら同時に監視す



実際に設置された『現場見守る君』

ふじみ野市の道路に設置されたカメラの映像(上:日中、下:夜間)



国道・高速道路下のアンダーパス

ることができるようになりました。排水ポンプ車の稼働は慣れた職員でも準備等に相応の時間を要するため『現場見守る君』でモニタリングしながら最適なタイミングを図ることも役立てています。限られた職員数で効率よく現地の状況を遠隔からモニタリングできる『現場見守る君』の役割は重要で、道路冠水の危険の高まった場所を重点に人数をかけて対応し、それ以外の場所はカメラを用いてモニタリングするなどといったメリハリを付けた業務に尽力できるようになりました。以前に比べて現場に従事する職員の数は限られてきているので、こうしたツールを積極的に使い業務の効率化を推進していければよいと考えます。」

カメラの画像を確認することで危険度の高低に応じて柔軟に職員を配置して対応することにより業務を効率的に運営できるほか、的確なタイミングで現場対応ができるようになったという。こういった視点から監視カメラ導入による業務運営の効率化とともに、道路施設等の安全性を高める意味でも効果的といえよう。

未来の災害対策にもつながる画像データの蓄積

実はカメラ画像で役立つのは、リアルタイムの動画だけではなく、ふじみ野市では、以下のように記録としての画像データの重要性も感じているようだ。同氏「録画された画像データ

が、後で道路冠水の発生状況などを検証をする際に非常に役立つことがあります。浸水シミュレーションでも理論的な浸水エリアを想定できますが、実態とは誤差が発生することが多々あります。その誤差を修正するためにこうした実績データは重要です。また、画像データは様々な場面において重要な証拠資料ともなりえます。」

近年の気象変化により、過去の常識が通用しない自然災害が増えている。しかしこうした変化を日々のデータとして蓄積・検証していくことで、新たな対応策も見えてくる可能性がある。

その意味で監視カメラは、現在だけでなく未来の災害対策にも確実につながっていくはずだ。

「現場見守る君」—自治体での主な活用術

導入場所

アンダーパス・河川・排水機場(ポンプ施設)・樋門 etc.

導入目的

- ・悪天候の中、河川などの水位や状況確認を行う
- ・現場をすぐに確認できることで早急な対策を打てる
- ・部署内で情報を共有
- ・市民への情報提供として利用 etc.

株式会社 吉田東光

〒330-0081

埼玉県さいたま市中央区新都心4-3 ウェルクビル3階

TEL.048-714-0403 FAX.048-856-0023

URL <https://www.yosidatoko.co.jp>

現場見守る君 特設サイト <https://mimamorukun.com/>